

臨時評議員会議事録

1. 開催 日時 平成 28 年 3 月 30 日 (木) 午前 11 時～
2. 開催 場所 静岡 新聞放送会館 10 階会議室
3. 評議員の総数 7 名
4. 出席した評議員数 6 名
内訳 北村 敏廣、河野 誠、杉田 豊、小和田 哲男、杉浦 靖彦、鍋倉 伸子
出席した理事 1 名
内訳 渡辺 忠晃
出席した監事 1 名
内訳 芝田 佳明
5. 議事録作成者 業務執行理事 渡辺 忠晃
6. 議長選任の経過
定刻、事務局より定款に議長選出の規定がない為、当会の議長として河野誠評議員を議長候補とする旨を議場に提案したところ出席者全員の賛同を得た為、河野誠を議長に選出。議長は、当評議員会は過半数の評議員の出席により、決議に必要な定款第 18 条第 1 項の定足数を満たしており本評議員会は適法に成立した旨を述べた。
続いて議長は定款第 19 条第 2 項の規定により議長と出席した評議員のうち 1 名が議事録署名人となる旨を述べ、北村 敏廣評議員を議場に提案したところ出席者全員の賛同を得た為、北村 敏廣を議事録署名人に選出。ただちに議案の審議に入った。
また、本日の評議員会には業務執行理事の渡辺 忠晃が同席した。
7. 議事の経過及び議案別議決の結果
第 1 号議案 平成 29 年度事業計画、収支予算書の承認の件
議長は本件を上程し、議案の説明を業務執行理事渡辺 忠晃 (以下事務局という) に求めた。事務局は平成 29 年度事業計画書を説明、また、事務局は収支予算書を一括朗読し、静岡新聞社・静岡放送から各々 400 万円、合計 800 万円の寄付増額があったことを含め、詳細な説明を行った。
議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたところ、北村 敏廣評議員から、「公益目的事業 2. 災害救援活動への助成事業について、これまでは義援金全額を日本赤十字社にお渡しし、被災地の復興に役立てるようにしてきたが、支援金が被災者のもとに届くまでに時間がかかり、どのくらいの金額がどのように使われているのかわかりづらいとの指摘があった。一方、災害時にすぐに掛け付け被災者と寄り添うボランティア団体などには活動資金が集まりにくく苦勞している面がある。そこで提案ではあるが、

義援金の募集にボランティア団体にも支援金を渡すことのできる方式で募金してみてもどうか、全国的に見ると毎日新聞社と毎日新聞東京社会事業団が行っており、その方式を参考にしてもどうかと考えている。」との提案があった。議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたところ、多くの賛同を得た。議長は第 1 号議案の採決とともにこれを議場に諮ったところ、平成 29 年度事業計画、収支予算書の承認の件は全員異議なく承認し、義援金の募集については理事会へ提案することとした。

8. 報告事項
議長は本件を上程し、事務局に説明を求めた。事務局より下記事項の報告を行った。
① 書面決議「監事選任」の件を報告した。そのうち、新しく監事に就任した芝田 佳明が就任の挨拶をした。
② 天野喜孝展スケジュール変更の件の件を報告した。

議長はこれに関し質疑および意見の開陳を求めたが、特に発言がなかったため、これを議場に諮ったところ、全員異議なく承認、確定した。

議長は以上をもって本日の理事会の議案の審議及び報告は全て終了したことを告げて閉会を宣した。時に午前 11 時 40 分であった。上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするために議長及び議事録署名人において、次に署名捺印する。

平成 29 年 3 月 30 日

公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団臨時評議員会

議長

河野 誠



議事録署名人

北村 敏廣

